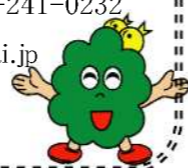


笑顔

熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山
 熊本市中央区保田窪1丁目1-33 第2大田ビル1階
 第38号 電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232
 平成29年1月 E-mail:sasaeriaobiya @kyouninkai.jp
 http://www.kyouninkai.jp/obiya /



平成28年度 居宅・包括連絡会

H28.10.27
熊本学園大学にて

今回の居宅・包括連絡会では、熊本学園大学社会福祉学部の黒木ゼミとの共同企画という形で実施しました。～リハビリ職と介護職を軸とした在宅医療介護連携について～をテーマとし、病院からの在宅復帰や在宅での療養生活、また自宅での看取りなどを円滑にする為の多職種連携において、実際に“現場”で利用者・患者に直接関わるスタッフ間の連携上の課題や、お互いの職種の役割について知ってもらい、新たな気付きを持っていただく為の話し合いが行われました。「リハビリ職（医療職）とヘルパー（介護職）で欲しい情報が違う」、「お互いの職種の役割を知らない部分があった」、「もっと現場レベルでの情報交換をすることで、利用者や患者の自宅での支援が更に円滑に出来るのではないか」等、活発な意見交換が行われております。今後高齢化が進む中、医療も介護も財源が縮小していくことで、地域（自宅）で療養生活を送る方が増えていくことが予測されます。そんな中でも安心して、医療と介護を受けながら生活できる体制づくりが重要になってきます。また、病院から自宅復帰する事がゴールではなく、その先の地域での生活（趣味活動や地域との繋がり）を考えた上での支援を実施していく為にも、医療職と介護職、そして地域の皆様との連携や情報交換は必要であると改めて感じる事ができました。



なるほど～！
何をゴールとするかが大事なんですね！



の療養生活、また自宅での看取りなどを円滑にする為の多職種連携において、実際に“現場”で利用者・患者に直接関わるスタッフ間の連携上の課題や、お互いの職種の役割について知ってもらい、新たな気付きを持っていただく為の話し合いが行われました。「リハビリ職（医療職）とヘルパー（介護職）で欲しい情報が違う」、「お互いの職種の役割を知らない部分があった」、「もっと現場レベルでの情報交換をすることで、利用者や患者の自宅での支援が更に円滑に出来るのではないか」等、活発な意見交換が行われております。今後高齢化が進む中、医療も介護も財源が縮小していくことで、地域（自宅）で療養生活を送る方が増えていくことが予測されます。そんな中でも安心して、医療と介護を受けながら生活できる体制づくりが重要になってきます。また、病院から自宅復帰する事がゴールではなく、その先の地域での生活（趣味活動や地域との繋がり）を考えた上での支援を実施していく為にも、医療職と介護職、そして地域の皆様との連携や情報交換は必要であると改めて感じる事ができました。



昨年、熊本地震により大きな被害に見舞われ、地域や事業所の方々と一緒に支援活動をさせて頂きました。その際、防災福祉のコミュニティづくりを日々の包括業務のなかで実践していく必要性を感じました。「熊本地震」に関するワークショップの開催やそのお手伝い、「在宅医療・介護連携」に関する研修会、「生活支援・介護予防」に関するワークショップ、さらに「認知症・困難事例／虐待防止」におきましても種々の取り組みをさせて頂きました。職員一同深く感謝申し上げます。さて、今年の四月からは、熊本市でも「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まります。制度改正時の不安や混乱もあるかと思いますが、職員一同頑張つて参りたいと思っております。本年も「指導と鞭撻をどうぞ宜しくお願い申し上げます。」

センター長 那須久史

謹賀新年

明けましておめでとうございます。今年も、「ささえりあおびやま」をお題に、新年恒例の“あいうえお作文”を考えました！皆さま、今年の出来はいかがでしょうか？！

さ：さあ始まります
 さ：支え合いの地域づくり
 え：エンジン掛けて、
 り：リードして、
 あ：明日に向かって
 お：大人も子どもも
 び：BIGな夢と
 や：優しさをもって
 ま：前を向いて
 参りましょう

★編集後記★

明けましておめでとうございます。昨年度は、熊本地震に始まり、皆さん怖い思いをされたかと思えます。我が家も被害を受けましたが、いまだに手付かずの状態です（泣）。しかしながら、家族や親戚・友人と一緒に災害のない日常を過ごす中で、あつという間に年を越し、新年へのページを刻むことが出来ました。さらに今年は、新たなチャレンジとして“ジョギング”を始めようかな！と考えております。私も年齢的に・気持ちはまだまだ若いつもりですが・（苦笑）。そろそろ毎日の積み重ねが大事だと思しますので、気合を入れて頑張ります！皆さんも一緒に新しい事にチャレンジしましょう♪

芹川 真寿美

人がつながる

住み慣れた地域で、たとえ介護や生活支援が必要になっても、安心していきいきと暮らすことができるよう、社会全体で支え合う事が重要です。今回は、3校区（託麻原・帯山・帯山西）の取り組みをご紹介します。

H28.12.6 高齢者疑似体験

託麻原小学校4年生を対象に、高齢者の疑似体験及び車椅子の体験を行いました。子どもたちは“視力障害（白内障）”や“円背”“片麻痺”の体験をしたり、また、視力障害の体験では「何も見えない」・「怖い」という声が聞かれ、中には足がすくみ思うように歩けない子もいました。車いす体験では、段差の昇降等の移動介助に、四苦八苦した様子もありました。



H28.11.22 認知症キッズサポーター養成講座

託麻原小学校4年生と認知症について学びました。“認知症の人の気持ちや接し方”についてのグループワークをし、『認知症のおじいちゃん、おばあちゃんが何度も同じ事を聞いてくる時にどうするか』の質問に、自分ならどう接するかを真剣に考え、「やさしく声をかける」などの意見を出してくれました。



託麻原小学校まなぼうさい H28.11.19

当日は雨天の下、お子さんから高齢者の方まで多数参加されており、防災意識の高さを改めて感じました。防災体験や避難所開設訓練が行われ、熊本市総務企画課進行のもと、消防署や地域の方々と一緒に、熊本地震での対応を振り返りながら、今後の課題と“防災づくり”に繋がる貴重な意見交換の場となっていました。



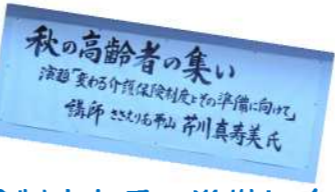
H28.12.9 熊本地震“チャレンジ託麻原”

水前寺共済会館グレースにて開催。PTA、大学生を含む地域の方々や、各事業所など約80名の方にご参加頂きました。災害から未来を考えるという視点のもと、熊本地震直後に発足したサロンと、平時から声かけを行う体制づくりを推進されるサロン代表の方より報告を頂きました。その後、地域マップを使い、災害時を意識したサロン活動の有り方や、地域を知る事をテーマに、日頃地域が取り組んでいる事や、事業所との繋がりや在り方を改めて考えると共に、今後の託麻原の地域づくりの強みを再確認出来る場となりました。



平成28年度 帯山校区 高齢者のつどい

帯山校区では、校区社会福祉協議会と自治会との共催で、“秋の高齢者の集い”が開催されています。『変わる介護保険制度とその準備に向けて』をテーマに各町内で講話が行われ、その後は、音楽療法や介護予防運動（いきいき百歳体操）、落語などが企画されました。他にも、参加者全員で食事を囲みながら談笑されたりと、参加者も多くとても賑やかな会になっていました♪



帯山校区2町内 民間活動促進事業補助金

2町内では、補助金を活用しながら、生活支援サービスの充実を図ることを目的とした事業に取り組んでいらっしゃいます。具体的には、高齢者がいきいきと楽しむ「ほがらかサロン」の運営、高齢者のニーズに応じた「お助け隊」の編成と活動、高齢者の介護予防につながる健康づくり活動です。その取り組みの一環として、11月29日に、合志市社会福祉協議会と山鹿市への視察研修が行われ、合志市での住民相互の支え合い活動＝安心生活サポート（ぽっかぽかサポート）の仕組みと、山鹿温泉プラザで実施されている通いのサービス（やまが元気倶楽部）を見学。更に、12月17日には、帯山地域コミュニティセンターにて、「帯山2町内未来を語ろう会」と題し、ワークショップが開催されました。協議内容は①して欲しい事②できるだろう事についてグループワークを実施。帯山中学校や熊本学園大学の学生も参加し、新しいアイデアがたくさんあり、若い力が発揮されました。このワークショップで出た沢山の意見を基に、帯山2町内では更なる検討が重ねられていくのではないのでしょうか。



私たちも、新たな「お助け隊」が作られていく過程に参加をさせて頂いておりますが、今後も、支え合いの仕組みづくりに関わらせて頂ければと思います。

H28.10.6 帯山西校区・高齢者交流会

帯山西地域コミュニティセンターにて、高齢者交流会が開催されました。この会は、地域の高齢者とボランティア協力員との交流を図り、顔の見える関係を築いていきたいという思いで開催されました。校区の食生活改善推進員さんによるおいしい食事が提供されたり、フォレスト熊本・音楽療法士の池田憲治氏による、音楽に合わせた歌や体操で介護予防が実施されていました。



H28.11.16 帯山西サロン H28.11.28 東水前寺サロン

両サロンにて、ささえりあ帯山・芹川より『変わる介護保険制度とその準備に向けて』の講話が行われました。介護保険の改正により、今後は住民主体で参加しやすく、地域に根差した介護予防活動の推進が必要となります。また、見守り等の生活支援の担い手として、生きがいと役割づくりによる互助の必要性も大変重要となります！との話があり、皆さん真剣に話を聞いていらっしゃいました。講話後は広域リハの支援により“いきいき百歳体操”が実施され、DVDを観ながらみんなで体操をしました♪



帯山西 野菜販売



帯山西校区では、「移動スーパーダイノブ」を利用した“お買い物サービス”が始まりました！場所は、県営帯山第2団地駐車場にて、毎週土曜日・15時45分から約30分間程度です。近くにお店がなくてお困りの方は是非お立ち寄りください♪直接商品を目で見て、手に取ってお買い物をして頂くことができます。野菜だけではなく、お惣菜品なども揃ってまーす！



地域の輝